



文部科学省委託事業「子供たちの心身の健全な発達のための子供の自然体験活動推進事業」

# チャレンジ チェンジ ガールスカウト



## 野外活動

YMCA 東山荘から講師をお招きして、森の中で様々な体験をしました。パーと開いた掌のような樹形に自然の大きさを実感。(御殿場市 第 33 団)



## 城北の森でアソぼう

「城北の森」と「四ツ池公園」で自然物と人工物の温度を測り、温度差くらべ。アスファルトは 50 度～60 度あるのに対し、森の中は 28 度～30 度。「土の下には何かいるかな？」テンダーフットのスカウトは夢中でした。

(浜松市 第 24 団)

## 森の探検隊

「水と緑の杜公園」を会場に、美しく色づき始めた桃沢の自然を散策。

秋の一日を満喫しました。(沼津駿東地区)



自然解説員の案内で、浜北区の森林公園を散策。体の丸いシマアメンボを見つけたり、カクレミノの葉っぱでジャンケンしたり。たくさんの生き物に出会うことができました。(浜松市 第 16 団・第 46 団)



## 桃沢の秋を満喫!!

感染症対策により子供たちが野外で体を動かす機会が減少するなど、子供たちを取り巻く環境に閉塞感が生じているため、ガールスカウトは文部科学省から委託を受け、この夏から自然体験活動を全国展開しました。子供たちが元気を取り戻し、健やかな成長を図ることを目的に、また、ガールスカウトの存在を地域に知ってもらう機会として、地区や団で取り組みました。

# 日本のガールスカウト運動 100 周年

1920年に日本にガールスカウトの種がまかれてから100年。  
社会に変化をもたらすエンジニアメントを目指す活動を紹介します。

## 国際ガールズメッセイベントに 柄谷歩佳さん（第34団）

女子高生の声を発表する実行委員に挑戦

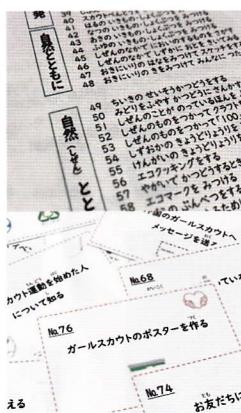
**応募動機** 以前、「女子大生の声からジェンダーを考えよう！」というイベントで、高校生アンケートを知りました。同年代がどのように考えているのか調査結果を自分の目で確かめたいと思い、実行委員に応募しました。

**ふりかえり** コロナの影響でオンライン開催でしたが、オンラインでなければ会えなかつた同世代とジェンダー問題を考える貴重な経験でした。ジェンダー問題は固定観念から生まれるので自分で考えて情報の整理、メディアやインターネットから変える必要があると思いました。

♡スカウトの皆さん、今後開催の「国際ガールズメッセ」「インターナショナルキャンプ」やCAC100に挑戦して、100周年をお祝いしよう！



柄谷歩佳  
御殿場市  
ヤマ  
第34  
年団



団オリジナルで  
100の挑戦！

今年は、ガツツリ団活動が出来る!!と  
100周年にちなんで100の挑戦として  
基礎を学ぶ活動をしています。チャレン  
ジして、達成したらカードが集まって  
達成感を感じるプログラムです。

(静岡市 第37団)

静岡県連盟 Facebook で  
シェアしています。

## Purple Lightup

### Purple Ribbon 2020



静岡市駿府城公園坤櫓前でパープルの薔薇を持って  
(静岡市 第31団)



県連盟事務局のある静岡県青少年会館もパープルに変身  
(事務局 提供)



富士川サービスエリアに巨大リボンが登場しました  
(富士市 第20団 提供)

## \*北陸東海地区年長事業でも取り組み\*

新型コロナウイルスの影響で中高生年代のガールスカウトが楽しみにしていた集合しての活動が実施できませんでした。担当の岐阜県連盟実行委員会からシニアとレンジャー向けにプログラムが提案され、今年度は団ごとで取り組みました。

私たちはシニア対象プログラム「MISSION・パープル」について自分たちでできることを話し合い、この運動をより多くの人に知つてもらえる方法を考えました。「パープルリボン」とメッセージカードを200個作り、エスパルスドリームプラザ、エスパルスドリームショップ、なの花薬局の3ヶ所に置かせて頂きました。来年は北陸東海地区のスカウトと一緒に活動ができたらいいなと願っています。(第31団シニア 中2)



活動報告書は静岡県連盟 FB で  
シェアしているので、見てね！

北陸東海地区年長事業プログラムの  
報告は2021年1月15日まで  
静岡県連盟で受け付けます。  
ぜひチャレンジしてください。

## レンジャースカウト、バッジ取得おめでとう (2019年度)

2020年度のバッジ申請は2月26日静岡県連盟必着です。たくさんの  
チャレンジ待ってま～す！(教育活動委員会)

①環境②リーダーシップバッジ  
第65団 上野舞子（高3）

☆リーダーシップバッジ  
第65団 白川瑠香（高3）

☆文化と遺産  
第31団 江村あいり（高2）

☆文化と遺産  
第31団 櫻田愛香（高2）

①環境についてディスカッションを行い、小学生を対象に授業を行いました。  
②リーダーがどうスカウトと接すれば良いかを考えながら、工夫しました。

ワールドシンキングデイの集会をしました。清水に寄港する外国客船の乗客に折り紙をわかりやすいようにクイズをませ、楽しく教える活動をシニア時代から続けてきました。理解していくことができました。リーダーがいました。英語に自信が持てるようになりイギリス派遣に役立ちました。

作った折り紙や私の作品を乗客が大切に持ち帰る様子に、日本文化を伝えることができた喜びを感じました。BS、GSの関係者が多く、国際交流も楽しかった。

編集後記

○今回は、コロナ禍でも工夫をしながら活動している様子を中心に紙面づくり。第3波の到来で、先行きが心配な年末ですが、「ほほえみはどんな困難にも打ち勝つ勇気を与える」(BPのことばより)をときどき思い出してみませんか。○コロナの影響で活動の様子を公開しにくいなあ～なんてこともありますですが、情報あっての広報誌。ガールスカウト活動を広めるためにも情報を寄せください。

## ガールスカウトしづおか 第121号 2020年12月発行

発行：一般社団法人ガールスカウト静岡県連盟 編集：情報委員会  
静岡市葵区田町1-70-1 ☎054-252-4840 FAX 054-273-7167

■HP <http://www.girlscout-shizuoka.jp>  
■Facebook <https://www.facebook.com/GS.Shizuoka>  
■Email [info@girlscout-shizuoka.jp](mailto:info@girlscout-shizuoka.jp)

会員募集中  
ガールスカウト  
静岡県連盟  
最新情報は  
こちらから▶▶

